

# 1 正の数・負の数

## 1 正の数・負の数, 自然数 1(A/B) p.10

- ① 0より大きい数を **正の数**, 0より小さい数を **負の数** という。0は, 正の数でも負の数でもない。
- ② **負の数** は  $-$  をつけて,  $-2$  のように表す。これに対して **正の数** は  $+$  をつけて,  $2$  を  $+2$  のように表すこともある。このとき,  $+$  を **正の符号**,  $-$  を **負の符号** という。

(例1) 0より7大きい数は  $+7$ , 0より5小さい数は  $-5$

- ③ 整数にも, **負の整数**, **0**, **正の整数** がある。  
……,  $-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4, 5, \dots$
- ④ 特に, 正の整数  $1, 2, 3, \dots$  を, **自然数** という。

小学校で習った数は  
0と**正の数**である。

**負の数**は, 必ず符号 $-$ をつけて書くが, **正の数**は, 符号 $+$ を省略することもある。

$-2$ は **マイナス2**と読む。  
 $+2$ は **プラス2**と読む。

## 2 数直線 1C p.10



- [1] 直線上に, 基準の点 (**原点** という) をとり, 数 **0** を対応させる。
- [2] 原点から左右に一定の間隔で目もりをつける。 (例2)
- [3] 0より **右側** の点に **正の数** を,  
**左側** の点に **負の数** を, 対応させる。



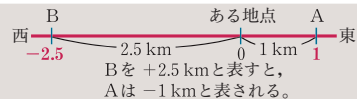
数を目もった直線を  
**数直線** という。

0と0より大きい数を表す**数直線**を, 0から左の方へのばすと, 0より小さい数も, 数直線上に表される。

## 3 符号のついた数と量 2 p.11

- ① たがいに反対の性質をもつ量は, 正の数・負の数を使って表される。
- ② 性質のうち, どちらを正の数で表すかを, はっきりさせておく。

(例3) ある地点(原点)から1km東の地点Aを  $+1$  km  
で表すと, 2.5km西の地点Bは  $-2.5$  kmと表される。



Bを  $+2.5$  kmと表すと,  
Aは  $-1$  kmと表される。

## 4 基準との違い 3 p.12

ある量を考えるとき, **基準を決めて**, それからの増減や過不足を  
**正の数, 負の数** で表すこともある。

(例4) 目標 1日10ページ  
との違い

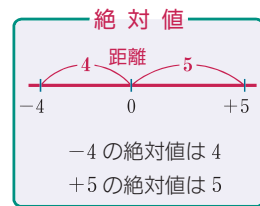
日	目標	1	2	3	4	5	6	7	8
ページ数	10	15	7	13	5	10	12	8	14
違い		+5	-3	+3	-5	0	+2	-2	+4

## 5 絶対値 4(A)(B) p.13

① 数直線上で、0の点(原点)からある数の点までの距離を、その数の**絶対値**という。

(例5)

$-4, +5, -2.5, \frac{5}{4}, 0$  の絶対値は、それぞれ  
 $4, 5, 2.5, \frac{5}{4}, 0$  である。



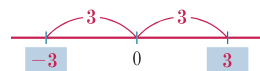
② 正、負の数からその数の符号を取りさったものが、その数の**絶対値**である。→ (例5)

③ 数は**符号**と**絶対値**からなるといえる。

(例6)

絶対値が3である数は 3と-3

絶対値が3である数



## 6 不等号 <, > 4(C) p.13

①  $a$ が $b$ より小さいことを  $a < b$  または  $b > a$  と表す。この関係はまた  $b$ が $a$ より大きいことを示している。

(例7)

$-5 < 3, 3 > -5, -6 < -2, -2 > -6$

②  $a$ が $b$ より小さく、 $b$ が $c$ より小さい }  $a < b < c$   
 $b$ が $a$ より大きく、 $c$ が $b$ より大きい } または  $c > b > a$

(例8)

$-8 < -3 < 1, 1 > -3 > -8$

数の大小の関係を表す記号  $>, <$  を **不等号** という。  
 $\geq, \leq$  も不等号であり、  
p.80で学習する。

② 3つ以上の数の大小を不等号を使って表すときは不等号の向きをそろえて書く。 $1 > -8 < -3$  では1と-3の大小が不明で誤り。

## 7 数の大小 4(C) 5 p.13 p.14

① 正の数は負の数より大きい。(負の数)  $< 0 <$  (正の数)

② 正の数は0より大きく、絶対値が大きいほど大きい。

③ 負の数は0より小さく、絶対値が大きいほど小さい。

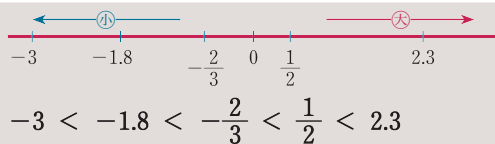


## 8 数の大小と数直線 4(C) 5 p.13 p.14

① 数を数直線上に表すと、数はすべて、**大きさの順に並ぶ**。

② 右の方にある数ほど**大きく**、左の方にある数ほど**小さい**。

(例9)



数直線 左 右  
小 大  
→ 右ほど大  
← 左ほど小

(例10)



・(例6) 参照  
・3と-3はふくまない。